預金の残高を合わせる

帳簿に"普通預金"として科目を 登録し、決算書にもその預金を 項目として表示している場合。

その普通預金の「実際の残高」と 「会計ソフトに出ている残高」は 同じ数字でないといけません。

同じではないという場合、それは 「何かが抜けている」 「何かが重複している」 などという事が起こっていると 思われるからです。

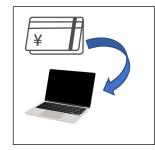
預金残高を合わせていない状態、 つまり「何かの抜けや重複」が ある状態で売上や経費などの チェックをしてはいけません。

預金残高の照合は最初の一歩。

たとえ自動取り込み設定に していても実は「ずれる」場合も あります。(本当です。)

大事なので必ず意識しましょう。

【これだけで終わってはダメ!】



預金通帳の数字、 全部入力したよ。 これ以上何を? 入力した後の 「残高照合」は ちゃんとやった?







【あるべき姿】





この2つが同じ数字になっていることを確かめましょう。

入力した1行1行を再びなぞるのではなく、**月末時点での 残高の数字が同じ**なら、それは普通預金の数字入力としては 「合っている |証拠なので、他項目のチェックへ進みましょう。



【会計ソフトではこうなっている! (freee の場合)】



そもそもクラウド会計なら銀行口座の数字は 同期(自動的に数字を取り込む設定)にすべし! それでもずれているときはタイムラインで確認。



※会計ソフトによって、預金残高照合の時に確認する画面は多少異なりますが 該当する預金の「総勘定元帳」を確認すると確実です。

詳細は当事務所の各担当より個別にご案内します。